



展示協力

広島市立美鈴が丘高等学校書道部
「オバマ大統領の宣言を書作品に」



このたびの市民公開講演会開催にあたり、広島市立美鈴が丘高等学校書道部の皆さんが制作された大書作品をお借りし、展示させていただきました。

生徒の皆さんは、「5月27日、アメリカの現職大統領として初めて広島を訪問し、核なき世界を目指すメッセージを、全世界へ発信したオバマ大統領の言葉を書作品にし、広島に住む高校生として平和への思いを披露したい」という気持ちを作品に込めたそうです。

ぜひご覧いただいて、その思いを受けとっていただければと思います。

広島市医師会 市民公開講演会

「全国の高校生へ語り継ごう ヒロシマから」

日時：平成28年7月31日(日) 13:30~16:00

会場：広島医師会館 2階 講堂



ご挨拶



広島市医師会は、昨年被爆70周年を迎えたことを契機に、あの日ヒロシマで起こった事、そして被爆者の身体にどんな影響があったのかを次の世代に語り継ぎ共に学び、核兵器のない戦争のない平和な世界を築くために、市民公開講演会を開催しました。今年も「全国の高校生へ語り継ごうヒロシマから」としてこの事業を継続しました。放射線の人体への影響について学び、被爆医師の体験を聴いていただき、核兵器、戦争、平和について一緒に考えていきたいと思います。

今年5月27日、米国のオバマ大統領がヒロシマを訪問し、被爆者と会い、核兵器なき世界のメッセージを世界に発信したことは大変意義深いことでした。「核兵器廃絶」の実現に向け大きな一歩となったと思います。

私たちは、原爆投下後被爆者の救護活動に専念した医療従事者の体験を原点として、被爆体験の継承と被爆医療の推進、そして核兵器のない平和な世界を希求することを使命と考え、今後もこの事業を継続していきます。

一般社団法人 広島市医師会 会長 松村 誠

プログラム

開会 13:30



ドキュメンタリー映画

「音の記憶・つながり」(抜粋版) 上映 13:35~

(製作:特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 製作年:2013年)

被爆の翌年、広島市内複数の高校の学生たちが集まり合同合唱団「広島学生音楽連盟」を結成した。彼らは、合唱活動のほか、東京から一流音楽家を招聘したコンサートを定期的に開催するなど、原爆で荒廃した広島を勇気づけようと奔走した。映画では、結成時の中心メンバーへのインタビューと彼らの被爆後の長い歩みに目を向けるとともに、現代の若者がこうした活動をどう捉えるのか、2011年のコンサートに参加した現役高校生へのインタビューを通してその様子を伝えている。また、主役の原田雅弘医師が、本日被爆体験を講演します。



会長挨拶 14:05~

一般社団法人 広島市医師会 会長 松村 誠



基調講演「放射線の人体に対する影響について」

14:10~



講師 (公財) 放射線影響研究所
丹羽 太貴 理事長

丹羽太貴理事長 略歴

1967年に京都大学理学部を卒業して大学院に進み放射線の健康影響についての研究を開始したが、学園紛争で研究が不可能となり、1971年に米国に留学。1975年にスタンフォード大学大学院を修了し、Ph.D.の学位を得た。同年京都大学医学部に職を得、その後広島大学原医研、京都大学放生研と職場を移り、2007年に停年をむかえた。この間、一貫して放射線の健康影響に関する研究を行ってきた。停年後は放射線医学総合研究所等に迎えられ、さらに民間の会社にも勤めていたが、2011年の福島事故には非常に衝撃をおぼえ、2012年に福島医大で特命教授の職を得て、福島に移り住み、現地の方々との交流を開始した。福島では、放射線が人々の心と生活を破壊するさまを学び、これまでのサイエンス一辺倒の研究がまことに狭量なものであることを思い知らされた。そして2015年6月に放射線影響研究所に理事長として赴任した。戦後70余年を経た今日、いざさか遅きに失した感はあるが、被爆者の方々には、原爆の健康影響のサイエンスだけでなく、心の問題から経済面、生活面など様々な側面でのご苦労を改めて学びたく思っている。



語り継ぐ会 - 被爆医師の被爆体験講話 -

14:45~



講師 医療法人昭和 原田整形外科病院医師
原田 雅弘 先生

原田雅弘先生 略歴

昭和2年(1927)、東京日赤本産院。昭和5年、父の開業により中島本町、元安川畔にて長ず。昭和19年、広島一中4年より学徒動員で呉海軍工廠へ→常在戦場→卒業延期。昭和20年8月1日、旧制広島高等学校入学。8月6日、被爆。デカダン生活に突入。昭和23年、広高卒。白線浪人始まる。昭和24年、東京慈恵会医科大学入学。昭和28年、慈大卒・整形外科教室入局。昭和36年秋、広瀬町原田病院副院長→院長。平成元年、祖先の地に自らの城開設。平成10年、院長職を長男 昭に譲り生涯現役を貫く予定(?)

受賞歴

平成元年 労働大臣表彰、平成8年 厚生大臣表彰。



講師 元広島大学学長 広島大学同窓会会長
原田 康夫 先生

原田康夫先生 略歴

昭和6年5月31日、呉市生まれ。広島一中2年生(14歳)の時に二次被爆。広島大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。広島大学医学部教授、医学部付属病院長、医学部長、厚生省医療審議会医師部会委員。平成5年広島大学学長、文部省大学審議会委員、平成13年6月広島市病院事業管理者、平成20年広島市現代美術館館長を務める。現在、広島大学名誉教授。広島大学同窓会長。

受賞・受章歴

インド神経耳科平衡学会ゴールドメダル受賞、バラニーゴールドメダル受賞(5年に一度スウェーデンで授与される医学賞)、紫綬褒章受章、中国文化賞、イタリア共和国コンメンタトーレ勲章、瑞宝重光章。



被爆医師と高校生の座談会

15:30~

講師 原田 雅弘 先生 原田 康夫 先生

閉会 16:00